事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2022年度期　　事業所名：TAKUMI登戸

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。集団クラスで児童が多い場合は、サーキットのスタート場所をを分けたり、交代制にするなどして、運動量が確保できるように工夫している。
	2	職員の配置数は適切である	加配加算を採用しているので、常時指導員は３名以上の体制となっている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	建築基準法に基づき、バリアフリー化の配慮を行っているが、完全にバリアフリーではないため、人的サポートで対応している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	生活空間は、毎日掃除・消毒をして清潔に保つよう努力をしている。また児童の活動の支障になるものは設置しないよう日々気を付けている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行っている。また、終了後にも振り返りを行い、次回の療育に繋げる対策を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	昨年度の結果を踏まえ、定期的に保護者の見学ができるよう体制を整えた。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	ホームページにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じ検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	興味や必要に応じて外部研修に参加し、内容を共有する機会を設けている。また、社内研修は運動面など適宜行っている。

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2022年度期　　事業所名：TAKUMI登戸

		チェック項目	改善目標や工夫している点
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	児発管と指導員が、児童の様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	標準化されたアセスメントツールをもとに適応行動の状況把握につなげている。初回、半年以降、1年の期間で情緒面や運動面のアセスメントシートを作成している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	児童一人ひとりのサービス計画に沿って、基本活動（自立支援・日常生活の充実のための活動等）を複数合わせて行っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	必要に応じて再確認しながらクラスのプログラムを作成している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	児発管と指導員全員で話し合い、プログラムの立案を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	クラスごとに月間目標を立て、約１か月ごとに活動の柱を変えている。また児童の興味・発達・成長に合わせ、必要に応じて臨機応変に調整を行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	当事業所は個別クラスと集団クラスが設けられているため、契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行っている。児童の成長度合いに応じ、クラス変更の必要がある場合には児発管、指導員、保護者、子どもの意見を踏まえて行っている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に必ず打ち合わせの時間を確保し、支援方法の確認や役割分担を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有している	支援終了後に必ず振り返りミーティングを行い、気づいた点や改善点を確認し、記録している。

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2022年度期　　事業所名：TAKUMI登戸

		チェック項目	改善目標や工夫している点
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録も作成し、随時検証している。毎回ではないが、必要に応じて動画での振り返りも行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	定期的（4～6ヶ月ごと）に保護者と面談を行っている。それに合わせ、児発管、指導員でミーティングを行い計画の見直しの必要性を判断している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	参画の要請があった場合には積極的に参画している。主に児発管が参加する。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	直接の連携は行っていないが、保護者からの要望に応じる形で、情報の共有など連携できる体制は整えている。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	当事業所には、医療的ケアが必要な子どもは通所していないが、必要が生じた場合には連携できる体制を整えていく。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	当事業所には、医療的ケアが必要な子どもは通所していないが、必要が生じた場合には連携できる体制を整えていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	保護者からの依頼に応じる形で、療育内容報告書を作成したり、電話での情報共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	保護者からの依頼に応じる形で、就学支援シートの提出など、情報共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	区市町村(川崎市等)が運営する公開研修・療育セミナーに各自参加し、その中で積極的に情報収集を行っている。

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2022年度期　　事業所名：TAKUMI登戸

		チェック項目	改善目標や工夫している点
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく、実施していない。また保護者からも要望がないため、今後必要が生じれば検討していく。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	多摩区協議会にオンラインにて参加した。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共有している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っている	プログラムとしては実施していないが、家庭での必要性に応じて、面談などの際に個別に伝えている。
保護者へ	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明している。支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	定期的（4～6ヶ月ごと）に保護者の方と面談を行い、ご説明した上で支援内容の同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	指導員や児発管が声掛けし、必要に応じて助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	父母の会はないが、療育前後にドア前で待機している際に、各自の必要に応じて保護者同士が自主的に関わりをもっている。

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2022年度期　　事業所名：TAKUMI登戸

		チェック項目	改善目標や工夫している点
の説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	相談窓口を契約時に案内しているほか、対面・電話ともに随時相談の対応をしている。また内容により、日や場所を改めての相談支援なども実施している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報は発行していないが、月ごとの活動概要を入り口ドア前に掲示している。また年間計画を事務室内に掲示し、見学時に見られるようになっている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報が含まれる書類は鍵付き書庫の中に保管し、処分時はシュレッダーにかけている。PC等からのアクセスについては、セキュリティソフトを導入し対応している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	文書での伝達手段の他、SNSも活用し保護者ごとの利便性に応じて対応している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく。
非常時等の	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	マニュアルがあることは契約時に説明している。今後必要に応じて閲覧などできるように検討していく。また不審者対応訓練を毎年8月に実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年2回（6月と11月）に実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約の際に確認した上で、スタッフ間で情報の共有をしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	当事業所では食物の提供をしていないが、年に数回市販の菓子を渡すことがあるため、契約時に保護者に確認し、渡す時にもアレルギー等配慮事項がある児童は保護者の確認のもと開封するよう指導している。

事業所における児童発達支援自己評価表（公表）

2022年度期　　事業所名：TAKUMI登戸

		チェック項目	改善目標や工夫している点
対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、全職員共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	社内全教室共通のテキストや事例集などを用いて研修を行い、虐待防止の意識を高めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	組織的に決定しており、子どもや保護者へは契約時に必ず説明し、了承を得ている。今現在、当事業所において拘束等は行われていない。

保護者からの児童発達支援におけるアンケート集計結果（公表）

2022年度期　　事業所名：TAKUMI登戸

A：はい　B：どちらともいえない　C：いいえ　D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	0	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	0	0	2	・専門性に関しては分からない。 ・一人一人の子をよく見て、声掛けして下さっている	専門性については契約書類の重要事項説明書に資格が記載してある他、質問なども随時承っております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ⅰになっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	1	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	0	0	0		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ⅱが作成されているか	18	1	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	1	0	2		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	0	0	2		
	8	活動プログラム※ⅲが固定化しないよう工夫されているか	17	1	1	0	子供のやりたい事のリクエストを聞いてくださるなど様々なプログラムを楽しんでいるようです。	お子様が飽きずに意欲的に取り組めるよう、クラスの子どもたちの成長度に応じてプログラムの内容を随時調整しております。

A：はい　B：どちらともいえない　C：いいえ　D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	4	7	8	・１日１時間の支援でそこまで求めていません。 ・特に交流の必要はない。 ・普段、地域の保育園に通い、定型発達児との交流があるため、個人的には不要と考えている。	現在は限られた営業時間の中では実施が難しい状況ではありますが、今後要望などがあれば検討して参ります。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	0	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	18	0	0	1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング※ⅳ等）が行われているか	11	1	2	5	毎回のフィードバックで補われていると考えている。	子育ての相談・助言等が必要な場合は職員にご相談ください。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	19	0	0	0	・毎回とても詳しく伝えて頂いて、大変有難く思っています。 ・毎回フィードバックがあるので、状況を聞けるし、新たなお願いもしやすい。	引き続きお子様が楽しみながら成長できるプログラムを考えてまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	0	1	2	・状況報告はあるが、助言等の支援をしてもらった事はまだない。 ・毎回本日の様子を先生が話してくれるので相談もしやすいです。	・子育ての相談・助言等が必要な場合は職員にご相談ください。 ・保護者会の実施予定は現在ありませんが、ご希望の際は児童発達支援管理責任者にご相談ください。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	5	8	6	・ぜひ開催してもらいたいです。 ・今は保護者同士の関わりは求めていないのでこのままで十分です。 ・保護者のための催しはないが、特に必要ない。 ・開催されても仕事の都合で参加できないかもしれず、保護者会運営の負担が生じると思うと今のままでよいです。	保護者会の実施予定は現在ありませんが、ご希望の際は児童発達支援管理責任者にご相談ください。

A：はい　B：どちらともいえない　C：いいえ　D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	1	0	1	・度々相談をする事がありますが、毎回適切なアドバイスを頂けてとても助かっています。 ・子の行き渋りがあった際、職員間ですぐに状況を共有していただき、事業所全体で子を支援する体制が整っていると感心しました。	今後も引き続き、必要な支援を職員間で共有し適切にお返しできるよう努めて参ります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	4	1	4		自己評価の結果は３月までにホームページの登戸教室の下部にPDFファイルで掲載いたします。イベント、創作の活動内容は引き続き掲示物や臨時のお知らせ等でお知らせしてまいります。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	16	0	0	3		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	19	0	0	0	マニュアルの書面による提示はないと思うが、避難訓練時にフィードバックがあり、訓練の様子を知ることができる	マニュアルの閲覧についても今後検討してまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	0	0	0		今後も子どもたちが安全に楽しく通所できるように、訓練などをおこなっていきます。

A：はい　B：どちらともいえない　C：いいえ　D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1	0	0	・イヤがることなく通えているので本人は楽しんでいると思います。 ・汗をいっぱいかいてとても楽しんでいます。 ・行き渋りをすることがあるが、通所後は活動に参加できているので楽しみにしていると考えている。 ・運動に行く！と、楽しく通所しています ・とても楽しみにしていて、お気に入りの場所になっています。先生方のあたたかい配慮により、場慣れが難しい子ですが、早くなじみ、活発さが出てきました。家でもよく動くようになりました。	今後も子どもたちが楽しく通所しながら成長できるように努めてまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	17	0	1	1	・通いだして月日が経っていないので分からないですが、今後子供が成長してくれればと思います。 ・少人数でしっかりみていただけるので安心しています。本人も楽しく通っているので良かったです。	スタッフ一同、適切な療育内容を提供できるよう、また自己を過信する事なく常により良いものを提供できるよう考えてまいります。

事業所における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

2022年度期　　事業所名：TAKUMI登戸

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	・法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い、十分なスペースを確保している。 ・集団クラスで児童が多い場合は、サーキットのスタート場所をを分けたり、鬼ごっこを交代制にするなどして、運動量が確保できるように工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか	加配加算を採用しているので、常時指導員は３名以上の体制となっている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建築基準法に基づき、バリアフリー化の配慮を行っているが、完全にバリアフリーではない。
業務改善	4	業務改善を進めるための ＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	個別支援計画に基づき、日々の療育の前に指導員全員でミーティングを行っている。また、終了後にも振り返りを行い、次回の療育に繋げる対策を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	定期的に保護者の見学ができるよう体制を整えた。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	弊社ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じ検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	興味や必要に応じ外部研修に参加し、内容を共有する機会を設けている。また、社内研修は運動面など適宜行っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	児発管と指導員が、児童の様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	標準化されたアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	児発管と指導員全員で話し合い、プログラムの立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	年間計画にて１～２か月ごとに活動の柱を変えている。また児童の興味・発達・成長に合わせ、必要に応じて臨機応変に行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	当事業所は、休日も通常開所しており、サービス提供は平日と特段変わりがないため、基本的には同じ内容で実施しているが、長期休暇には特別プログラムを実施している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	当事業所は個別クラスと集団クラスが設けられているため、契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行っている。児童の成長度合いに応じ、クラス変更の必要がある場合には児発管、指導員、保護者、子どもの意見を踏まえて行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に必ず打ち合わせの時間を確保し、支援方法の確認や役割分担を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後に必ず振り返りミーティングを行い、気づいた点や改善点を確認し、記録している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録も作成し、随時検証している。毎回ではないが、必要に応じて動画での振り返りも行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的（4～6ヶ月ごと）に保護者の方と面談を行っている。それに合わせ、児発管、指導員でミーティングを行い計画の見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	児童一人ひとりのサービス計画に沿って、基本活動（自立支援・日常生活の充実のための活動等）を複数合わせて行っている。

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	参画の要請があった場合には積極的に参画している。主に児発管が参加する。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	当事業所は送迎がないこともあり、学校との情報共有は行っていない。その代わり、保護者から間接的に学校情報をもらうことがあるので、今後、必要に応じて学校との連携を検討していきたい。
	22	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	当事業所には医療的ケアの必要な児童が通所していないが、必要が生じた場合には主治医との連絡体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	現在は就学前の各園との情報共有等は行っていないが、保護者の依頼のもと、必要があれば情報共有をできる体制が整っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現在障害福祉サービス事業所等へ移行する児童はいないが、必要が生じた場合には、資料を提供できる体制が整っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	区市町村(川崎市等)が運営する公開研修・療育セミナーに各自参加し、その中で積極的に情報収集を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していない。また保護者からも要望がないため、今後必要が生じれば検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	多摩区協議会にオンラインにて参加した。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	プログラムとしては実施していないが、家庭での必要性に応じて、面談などの際に個別に伝えている。

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明している。支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	指導員や児発管が声掛けし、必要に応じて助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会はないが、療育前後にドア前で待機している際に、各自の必要に応じて保護者同士が自主的に関わりをもっている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・契約時に苦情の連絡方法を伝えている。また日々の関りの中で、苦情にまで至らない要望などを吸い上げ、職員間で共有・検討し、必要に応じて保護者に周知している。 ・今後要望があれば、意見箱等の設置を検討していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報は発行していないが、月ごとの活動概要を入り口ドア前に掲示している。また年間計画を事務室内に掲示し、見学時に見られるようになっている。
	35	個人情報に十分注意しているか	個人情報と思われる資料は鍵付き書庫の中に保管し、処分時はシュレッダーにかけている。PC等からのアクセスについては、セキュリティソフトを導入し対応している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	文書での伝達手段の他、SNSも活用し保護者ごとの利便性に応じて対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	・マニュアルがあることは契約時に説明している。今後必要に応じて閲覧などできるように検討していく。 ・不審者対応訓練を毎年8月に実施している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回（6月と11月）に実施している。

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	社内全教室共通のテキストや事例集などを用いて研修を行い、虐待防止の意識を高めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	事業所内に拘束を行う方針はないが、児童の危険を伴う場合はやむを得ず身体拘束を行う旨を保護者に説明し、同意書を頂いている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	当事業所では食物の提供をしていないが、年に数回市販の菓子を渡すことがあるため、契約時に保護者に確認し、渡す時にもアレルギー等配慮事項がある児童は保護者の確認のもと開封するよう指導している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	その都度記録し、全職員共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。

保護者からの放課後等デイサービスにおけるアンケート集計結果（公表）

2022年度期　　事業所名：TAKUMI登戸

A：はい　B：どちらともいえない　C：いいえ　D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	0	0	0	子どもが思い切り体を動かせるスペースがあります。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	2	0	0	上手く子供を導いてくれています。	専門性については契約書類の重要事項説明書に資格が記載してある他、質問なども随時承っております。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	11	1	0	あまり中に入っていないのでわからない。段差はないように見える。	建物の都合上、2階までは階段のみになってしまいますが、運動室内の環境は今後も整備に努めてまいります。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	21	1	0	0		
	5	活動プログラム※ⅱが固定化しないよう工夫されているか	21	1	0	0		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	6	15	0	・１時間だけのプログラムなのでそういう機会がなくても問題ない。 ・いいえですが、特に希望なし。 ・活動時間が１時間しかないですし、今はコロナ禍なので必要ないです。	運動療育という特性上現状では難しいですが、必要に応じて検討してまいります。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	0	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	1	0	0	・子供に関してポジティブなことだけでなく、できていないところや頑張った方がいいところなどのお話も伺えたら良いと思います。 ・毎回丁寧に話を聞いてくれています。	引き続きお子様の様子や成長点など、できるだけ詳しくお伝えできるように努めてまいります。

A：はい　B：どちらともいえない　C：いいえ　D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	0	1	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	6	15	0	・まだ入所したばかりでわからない。 ・いいえですが、特に希望なし。 ・コロナもまだ終息していないが、保護者同士の懇談会のような場があれば嬉しい。（情報交換などができれば） ・興味はありますが、時間と場所に課題がありそうです。	保護者会の実施予定は現在ありませんが、ご希望の際は児童発達支援管理責任者にご相談ください。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	10	0	0	・経験がないので、よく分かりません。 ・苦情ありませんが、あった際には対応していただけると思う。	ご意見・申し入れがあった場合には即日職員全員で改善策を話し合い、結果をお伝えいたします。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	3	0	0	話せない子ですが、気持ちをくみとってくれています。	今後も子どもたちの意思も考えながら、よりよい支援を考えてまいります。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	6	0	0	・LINEでその月のめあてや内容など前もってわかるとよい。 ・毎回の活動の報告はうけているが、月に１回コピーをもらえると良いと思う。	・月のめあては教室の入り口に、年間計画は見学スペースにそれぞれ掲示しております。ご要望を頂いた場合にはプリントでもお渡ししております。 ・サービス提供記録はご希望の方にはご自身のスマホカメラなどで写真を撮って頂いております。 ・各家庭ごとにニーズの形が異り、毎月の個別対応が難しいことからこのような形を取らせて頂いております。今後もご意見やご提案などありましたらお待ちしております。
	14	個人情報に十分注意しているか	20	2	0	0		

A：はい　B：どちらともいえない　C：いいえ　D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	2	0	0		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	1	0	0		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	21	1	0	0	毎週楽しみに通っています。	今後も子どもたちが楽しく通所しながら成長できるように、今後も職員一丸となって励んでまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	21	1	0	0	・創作クラスが廃止されてしまいとても残念です。復活を強く望みます。 ・学校での様子や家での様子も聞いてくださった上で、タクミの中での課題や成長している部分をよく見てくださっていて助かります。 ・ステキな居場所です。重度ですが受け入れてくださり、毎回楽しく運動でき、本人も出来る事が増えました。	スタッフ一同、適切な療育内容を提供できるよう、過信する事なく常により良いものを提供できるよう考えてまいります。